

鳥の卵のひみつ — Bird Eggs —

2025年 7月12日(土) ▶ 9月21日(日)

会 場 岐阜県博物館本館4階 特別展示室・企画展示室

開館時間 9:00～16:30 (入館は16:00まで)

休 館 日 月曜日(月曜日が祝日または振替休日の場合は翌平日)

入 館 料 一般 340円(280円) 大学生 110円(50円)
高校生以下 無料 ()内は20名以上の団体料金

主催: 岐阜県博物館 岐阜大学
岐阜新聞社、岐阜放送

協力: 岐阜大学アーカイブ・コア管理運営室
兵庫県立人と自然の博物館
岐阜大学動物園生物学研究センター
ぎふライチョウ保全研究会

後援: NHK岐阜放送局

卵のひみつをさぐろう!

鳥の卵は美しい。完璧な形、表面の多様な色や模様は、古くから、多くの人々を魅了してきました。18世紀のヨーロッパでは、卵殻のコレクションが豪華な応接間を彩る装飾品として欠かせないものでした。19世紀から20世紀のはじめ、博物学的な趣味として、卵殻の標本収集が流行しましたが、鳥類の繁殖への影響が大きいため、現在は、ほとんどの国で、鳥の卵を採集することが禁じられています。

この特別企画展は、岐阜県博物館と岐阜大学が連携して開催するもので、岐阜県博物館と兵庫県立人と自然の博物館が所蔵する明治から昭和初期に収集された鳥卵コレクションと岐阜大学が全国の動物園や水族館から収集した鳥卵コレクションを紹介します。さまざまな鳥の卵の形や模様を楽しみながら、鳥類の保全活動に関心を持つ機会になればと思います。



形のふしぎ

左からウミガラス、フクロウの卵殻(岐阜県博物館蔵)



色のふしぎ

左からトキ、アオサギ、カンムリシギダチョウの卵殻
(岐阜大学応用生物科学部 動物保全繁殖学研究室蔵)



模様のふしぎ

左からシジュウカラ、ホオジロの卵殻(岐阜県博物館蔵)



古い標本にも注目

尖閣諸島で採集されたアホウドリの卵殻(兵庫県立人と自然の博物館蔵)

関連事業

(1)講演会(会場 けんぱくホール 定員120名)

①日本列島の鳥の起源と進化ーDNAの研究でわかった鳥たちの歴史ー

講師：西海 功

(国立科学博物館動物研究部脊椎動物研究グループ研究主幹)

日時：8月3日(日) (13:30~15:00)

②体験から学びを得るー鳥をみて・きいて・ふれてー

講師：稲垣 玲弥(三重県総合博物館学芸員)

日時：8月31日(日) (13:30~15:00)

③ペンギンの世界ー過去・現在・未来ー

講師：安達 那央子

(アドベンチャーワールド ペンギン繁殖プロジェクトリーダー)

日時：9月14日(日) (13:30~15:00)

(2)けんぱく教室(会場 講堂・研修室 定員各10セット)

①ニワトリの卵殻標本をつくってみよう

講師：当館学芸員

日時：7月26日(土)、8月17日(日) (13:30~15:30)

*卵アレルギーの方はご注意ください。



- 東海北陸自動車道 関インターから車で5分
- 岐阜バス(小笠原バス停下車徒歩20分)
- ※岐阜駅方面からは、岐阜バスターミナル又はJR岐阜駅14番乗り場でご乗車ください(岐阜関線、岐阜美濃線)
- ※関駅からは、関駅西側の関シティターミナルバス停からご乗車ください(岐阜関線)
- 関シティバス(百年公園バス停下車 300m)
- ※関駅からは、関駅西側の関シティターミナルバス停からご乗車ください(わかくさ・小金田線、水曜日~日曜日)

お車で越しの方は岐阜県百年公園北口駐車場(無料)をご利用ください。北口から博物館まで300mです。歩行が困難な方は博物館入口までお車の乗り入れができますので、百年公園管理事務所でお申し出ください。
※南口駐車場から博物館までは、徒歩約2km(勾配有り)です。

- ★ 要申込み ホームページ(または電話)にて受付けます。
- ★ 講演会は入場無料 但し、特別企画展観覧には入館券が必要です。
- ★ けんぱく教室は入館券、材料費(200円)が必要です。

背景の写真はコウテイペンギン(エンペラーペンギン)の卵殻(岐阜大学応用生物科学部 動物保全繁殖学研究室蔵)

GIFU PREFECTURAL MUSEUM
岐阜県博物館

〒501-3941 岐阜県関市小笠原1989(岐阜県百年公園内)
TEL 0575-28-3111(代) FAX 0575-28-3110
<https://www.gifu-kenpaku.jp>